



## 2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月12日

上場会社名 トレックス・セミコンダクター株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6616 URL <https://www.torex.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 木村 岳史  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 経営企画本部 (氏名) 前川 貴 TEL 03-6222-2875  
 本部長  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	5,865	△6.2	165	△54.8	64	△81.1	35	△56.9
2025年3月期第1四半期	6,251	△2.4	365	64.1	340	—	83	17.4

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 57百万円 (△87.4%) 2025年3月期第1四半期 458百万円 (57.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	3.38	—
2025年3月期第1四半期	7.57	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	33,513	16,969	50.6	1,601.95
2025年3月期	33,607	17,400	51.8	1,616.67

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 16,969百万円 2025年3月期 17,400百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	28.00	—	28.00	56.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	28.00	—	28.00	56.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,500	6.4	400	—	400	—	300	—	28.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	11,554,200株	2025年3月期	11,554,200株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	961,463株	2025年3月期	790,963株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	10,620,785株	2025年3月期1Q	10,999,602株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当連結会計年度における世界経済および日本経済は、景気は穏やかに回復しているものの、米国の関税政策や中東における地政学リスクの高まりなどの影響から先行き不透明感が続きました。

当社グループが属するエレクトロニクス市場におきましては、AI関連の一部は引き続き好調ではありますが、長期的な市場の停滞や日本の国内市場の低迷などの影響から、民生機器市場、産業機器市場を中心に幅広い分野で調整が継続しました。一方で、長引いた在庫調整もようやく解消され始めてきています。

このような環境のなかで、当社グループは、経営理念にある「市場に適応した価値ある製品を創出し、豊かな社会の実現と地球環境の保全に貢献する」ため、電気機器の小型化・省電力化に「電源」の観点から取組み、収益力の強化と持続的な成長の実現に向けて、以下の諸施策を継続的に推進してまいりました。

- ・製品企画・開発部門において、マーケットインの発想に立脚した、差別化のできる高付加価値な汎用製品、及びターゲット市場として注力する車載機器・産業機器に向け、特長ある製品を迅速に市場へ投入していくため、企画・開発活動を進めました。
- ・顧客訪問に加えオンラインも活用しながら、各地域に密着した営業活動を継続、FAE（フィールド・アプリケーション・エンジニア）を活用することで、顧客の要望や製品企画への迅速かつ柔軟な対応と営業基盤の維持に努めました。
- ・品質向上とコスト削減を両立させるべく、製品企画段階からのコスト分析の徹底、生産計画の効率化を進めるとともに、協力会社や製造子会社との協力体制を深め、同業他社に比して競争力のある製造コストと安定供給、納期対応の実現を進めました。
- ・PANJIT INTERNATIONAL INC社との間で、当社子会社TOREX VIETNAM SEMICONDUCTOR CO., LTD. について、業務提携を目的として当社が保有する持分の一部を譲渡する旨の検討を進めております。
- ・グループ収益の最大化につなげるため、フェニテックセミコンダクター株式会社とのシナジー効果を高め、パワー半導体ビジネスへの取り組みなど、共同プロジェクトを推進しました。
- ・フェニテックセミコンダクター株式会社においては、製品の長期・安定供給体制と競争力のある製品づくり及び生産性向上のための各種活動を推進しました。
- ・トレックス・セミコンダクター、フェニテックセミコンダクターの両社において、業務改善による経費抑制の取組みを進めました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高58億65百万円（前年同期比6.2%減）、営業利益1億65百万円（前年同期比54.8%減）、経常利益64百万円（前年同期比81.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益35百万円（前年同期比56.9%減）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①日本

当第1四半期連結累計期間における日本事業は、主に一般民生機器分野向けの販売が減少したことなどにより、売上高は40億44百万円（前年同期比6.5%減）、セグメント利益は1億9百万円（前年同期比61.8%減）となりました。

#### ②アジア

当第1四半期連結累計期間におけるアジア事業は、主に産業機器分野向けの販売が増加しましたが、車載機器向けの販売が減少したことにより、売上高は13億61百万円（前年同期比5.3%減）、セグメント利益は29百万円（前年同期比29.5%増）となりました。

#### ③欧州

当第1四半期連結累計期間における欧州事業は、主に医療機器分野向けの販売が増加しましたが、産業機器分野向けの販売が減少したことにより、売上高は2億87百万円（前年同期比21.1%減）、セグメント利益は28百万円（前年同期比14.6%増）となりました。

#### ④北米

当第1四半期連結累計期間における北米事業は、主に産業機器分野向けの販売が増加したことにより、売上高は1億72百万円（前年同期比39.8%増）、セグメント利益は13百万円（前年同期はセグメント損失7百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は208億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ10百万円減少いたしました。減少の主な要因は、自己株式の取得を実施したことにより、流動資産の「その他」に含まれる仮払金が1億85百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は126億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ83百万円減少いたしました。減少の主な要因は、減価償却などにより有形固定資産が2億60百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、総資産は、335億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ94百万円減少いたしました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は67億64百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億90百万円減少いたしました。減少の主な要因は、夏季賞与の支給により賞与引当金が3億58百万円減少したことなどによるものです。

固定負債は97億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億27百万円増加いたしました。増加の主な要因は、当社子会社において運転資金として追加借入15億円を実施した結果、長期借入金が5億50百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は、165億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億37百万円増加いたしました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は169億69百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億31百万円減少いたしました。

この結果、自己資本比率は50.6%（前連結会計年度末は51.8%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月14日の「2025年3月期 決算短信[日本基準]（連結）」にて発表いたしました連結業績予想に変更はありません。

なお、上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,429,457	9,521,789
受取手形及び売掛金	4,084,734	4,060,517
棚卸資産	6,486,135	6,487,029
その他	839,744	761,277
貸倒引当金	△3,958	△5,041
流動資産合計	20,836,112	20,825,572
固定資産		
有形固定資産	9,155,201	8,895,038
無形固定資産	714,179	813,435
投資その他の資産		
その他	2,907,423	2,984,239
貸倒引当金	△4,917	△4,811
投資その他の資産合計	2,902,505	2,979,428
固定資産合計	12,771,885	12,687,902
資産合計	33,607,998	33,513,475
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	701,368	847,347
短期借入金	1,900,000	1,900,000
1年内償還予定の社債	100,000	—
1年内返済予定の長期借入金	2,479,936	2,718,608
未払法人税等	97,246	68,484
契約負債	5,443	8,861
賞与引当金	437,324	78,917
その他	1,332,898	1,141,944
流動負債合計	7,054,217	6,764,163
固定負債		
長期借入金	8,332,262	8,882,786
退職給付に係る負債	400,707	406,847
株式給付引当金	106,860	113,962
その他	313,318	376,664
固定負債合計	9,153,148	9,780,260
負債合計	16,207,366	16,544,423
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,967,934	2,967,934
資本剰余金	8,420,205	8,420,205
利益剰余金	5,523,084	5,254,637
自己株式	△999,102	△1,184,227
株主資本合計	15,912,121	15,458,550
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	280,420	312,249
為替換算調整勘定	873,149	871,723
退職給付に係る調整累計額	334,940	326,528
その他の包括利益累計額合計	1,488,510	1,510,501
純資産合計	17,400,632	16,969,051
負債純資産合計	33,607,998	33,513,475

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	6,251,608	5,865,417
売上原価	4,400,681	4,425,999
売上総利益	1,850,927	1,439,417
販売費及び一般管理費	1,485,555	1,274,236
営業利益	365,371	165,180
営業外収益		
受取利息及び配当金	26,651	30,397
受取賃貸料	11,955	8,302
その他	11,240	11,279
営業外収益合計	49,847	49,980
営業外費用		
支払利息	39,926	39,380
為替差損	32,068	110,158
支払手数料	2,000	—
その他	605	1,183
営業外費用合計	74,600	150,722
経常利益	340,618	64,438
特別利益		
保険解約返戻金	12,169	—
特別利益合計	12,169	—
特別損失		
固定資産除売却損	4,307	5,249
特別損失合計	4,307	5,249
税金等調整前四半期純利益	348,480	59,189
法人税等	265,145	23,263
四半期純利益	83,334	35,926
親会社株主に帰属する四半期純利益	83,334	35,926

## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	83,334	35,926
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	186,045	31,829
為替換算調整勘定	196,846	△1,426
退職給付に係る調整額	△7,986	△8,411
その他の包括利益合計	374,905	21,990
四半期包括利益	458,240	57,916
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	458,240	57,916

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	498,272千円	486,443千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期 連結損益計 算書 計上額
	日本	アジア	欧州	北米	合計		
売上高(注2) 顧客との契約から生じる 収益	4,326,577	1,437,736	364,134	123,159	6,251,608	—	6,251,608
外部顧客への売上高	4,326,577	1,437,736	364,134	123,159	6,251,608	—	6,251,608
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,615,294	91,888	7,555	9,722	1,724,461	△1,724,461	—
計	5,941,872	1,529,625	371,689	132,882	7,976,070	△1,724,461	6,251,608
セグメント利益又は損失 (△)	287,021	22,698	25,261	△7,576	327,405	37,965	365,371

(注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。調整額37,965千円には、セグメント間取引消去37,965千円が含まれております。

2. 当社は、当社の製品を搭載した電子機器等が企画・設計され、実質的に受注を獲得した地域(デザイン・イン・ベース)の売上高を基にした指標も加味して事業戦略上の意思決定を行っております。デザイン・イン・ベースで集計した売上高は以下のとおりとなります。

(デザイン・イン・ベースの売上高)

(単位:千円)

	報告セグメント				
	日本	アジア	欧州	北米	合計
売上高	4,544,471	996,990	469,610	240,537	6,251,608

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期 連結損益計 算書 計上額
	日本	アジア	欧州	北米	合計		
売上高(注2) 顧客との契約から生じる 収益	4,044,557	1,361,475	287,232	172,151	5,865,417	—	5,865,417
外部顧客への売上高	4,044,557	1,361,475	287,232	172,151	5,865,417	—	5,865,417
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,582,513	97,830	10,794	7,383	1,698,522	△1,698,522	—
計	5,627,070	1,459,305	298,027	179,535	7,563,939	△1,698,522	5,865,417
セグメント利益	109,527	29,391	28,937	13,406	181,262	△16,081	165,180

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。調整額△16,081千円には、セグメント間取引消去△16,081千円が含まれております。

2. 当社は、当社の製品を搭載した電子機器等が企画・設計され、実質的に受注を獲得した地域(デザイン・イン・ベース)の売上高を基にした指標も加味して事業戦略上の意思決定を行っております。デザイン・イン・ベースで集計した売上高は以下のとおりとなります。

(デザイン・イン・ベースの売上高)

(単位:千円)

	報告セグメント				
	日本	アジア	欧州	北米	合計
売上高	4,237,154	921,437	451,199	255,626	5,865,417